

	シリーズ名	子宮筋腫の自然史解明に関する研究
	所属・役職・氏名	女性病態医学・講師・市村友季 (ICHIMURA, Tomoyuki)
<p><要旨> 発生する筋腫の個数や大きさに個人差があること、増大速度や閉経後の縮小速度に個人差があることは以前から広く知られているものの誰もその答えを知らない。これは子宮筋腫という疾患の自然史が解明されていないからで、筋腫は一部の遺伝子発現異常を除きその発生原因が特定されておらず、また肉腫や異型筋腫など類似疾患との関連性が明確にされていない。これまで筋腫には子宮摘出が行われ、筋腫は研究対象となりにくかった。しかし晩産化や女性の意識変化などから筋腫を保存的に管理する機会は増加し筋腫に関する研究も行われるようになってきた。筋腫を生検することで組織採取を行い、得られた組織の解析から子宮筋腫に関する疑問を解明する。</p> <p><研究シリーズ説明> 子宮筋腫の組織学的診断を行う目的で我々が独自に開発した『子宮筋腫針生検診断法』を行い、筋腫の組織採取を行う。病理診断を行った後の組織検体を説明と同意を得て解析することにより、子宮筋腫の増大と縮小に関わる因子の解析から、筋腫の発生に関与する因子の検索を行う。また、肉腫症例においては筋腫領域と肉腫領域における相違を分子学的に解析し、筋腫の悪性化に関わる因子の解明を行う。</p> <p><アピールポイント> 筋腫の発生原因を解明することで発生頻度を減らすことができる可能性がある。自然史解明により筋腫の増大や縮小の個人差に関わる要因が分かれば、筋腫を大きくしないようにすることが可能になると考えられる。筋腫の発生頻度は 20-30%であり、筋腫の発生を抑制する薬剤の登場により、その恩恵を受ける方は非常に多いと考える。また、近年ペットブームにあるが犬にも筋腫は発生し、ペットへの応用も考えられる。</p> <p><利用・用途・応用分野> 製薬業界, ペット業界, 超音波機器</p> <p><知的財産権・論文・学会発表など></p> <ul style="list-style-type: none"> • Ichimura T, Kawamura N, Ito F, Shibata S, Minakuchi K, Tsujimura A, Umesaki N, Ogita S. Correlation between the growth of uterine leiomyomata and estrogen and progesterone receptor content in needle biopsy specimens. Fertil Steril. 1998 Nov; 70(5):967-971. • Kawamura N, Ichimura T, Ito F, Shibata S, Takahashi K, Tsujimura A, Ishiko O, Haba T, Wakasa K, Ogita S. Transcervical needle biopsy for the differential diagnosis between uterine sarcoma and leiomyoma.ween uterine sarcoma and leiomyoma. Cancer. 2002 Mar 15; 94(6):1713-1720. • Hayashi T, Horiuchi A, Sano K, Hiraoka N, Kasai M, Ichimura T, Sudo T, Tagawa Y, Nishimura R, Ishiko O, Kanai Y, Yaegashi N, Aburatani H, Shiozawa T, Konishi I. Potential role of LMP2 as tumor-suppressor defines new targets for uterine leiomyosarcoma therapy. Sci Rep. 2011; 1:180. doi: 10.1038/srep00180. Epub 2011 Dec 5. • 市村友季,石河修,川村直樹. 経子宮頸管的針生検による子宮肉腫の診断. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 23(1): 79-84, 2005-01-25 • 市村友季,川村直樹,石河修. 子宮動脈塞栓術前後の筋腫結節、内膜、筋層の組織学的検討. 産婦人科の世界 56(9): 943-950, 2004-09-01 • 市村友季,川村直樹,石河修. わが教室における子宮筋腫の管理. 産婦人科治療 86(3): 333-340, 2003 <p><関連するURL> なし</p> <p><他分野に求めるニーズ> なし</p>		
キーワード	子宮筋腫, 針生検, 自然史解明, 悪性化	